

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	・運営推進会議内容を職員へ口頭伝達をしていた。会議開催前後に内容を伝達していたが、会議録を回覧する事がなかった。そのため、担当者でしか内容の把握ができてなかったと思われる。	・運営推進会議の議事録を回覧し、会議の内容を周知する事で、全職員でホームの事を考え、更にサービス向上につなげる事ができる。	①会議前後に開催内容を朝礼で口頭説明、日誌に記録し申し送る。 ②会議録を作成し、回覧。確認サインをもらう。 ③職員の感想などの記録欄を設ける。 ④検討事項は職員会議で話し合う。	3ヶ月
2	6	・拘束のないケアの実践に取り組んでいるが、周知できている事を前提に簡単な研修しか行っていなかった。マニュアルの確認も形だけのものになっていたのかも知れない。	・身体拘束の研修・勉強会の中で、マニュアルを確認し、「やむを得ない場合の拘束」について理解を深める。	①年1回以上、施設内研修を行う。 ②マニュアルの内容を理解し、確認サインをもらう。（今回はとくに「やむを得ない拘束」についての理解を深める） ③関連の外部研修のある時には積極的に参加し、職員会議での復命を行う。	3ヶ月
3	35	・母体病院への連絡もマニュアルに記載されているが、実際に参加して頂くよう要請をしたことがない。もしもの時の為に、一人でも多く訓練に参加していただくよう要請が出来ていない。	・母体病院から防災訓練の参加をお願いするとともに、地域の消防団やご近所の方にもご協力いただけるよう要請し、実現される。	①年1回の消防署の立ち会いの下、防災訓練を行う。 ②防災訓練計画を母体病院関係者はじめ地域の方にもお知らせし、協力要請をする。 ③役場・総務課に相談し、地元消防団が参加して下さるようお願いをする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。